

つながり



患者の最適な数値を目指し、
精査加療、生活改善を進める

1-2p ▶ 腎臓・内分泌内科、糖尿病・代謝内科のご紹介

部門紹介	3p
医療まめちしき／教えてパタ崎さん！	4p
TOPICS／我が病院のボランティアさん	5p
総合医療支援センターからのお知らせ	6p
地域の医療機関のご紹介	7p

ご自由にお取り
ください

腎臓・内分泌内科、

糖尿病・代謝内科のご紹介

細かな測定データに基づき
適切な診断を行い
症状の改善や悪化防止に
努めています

腎臓・内分泌内科

杉浦 章 医師

透析センター部長

兼第二腎臓・内分泌内科科長

糖尿病・代謝内科

薄井 正寛 医師

糖尿病・代謝内科科長

「二次検診の

受け入れと、

患者の精査加療」

大崎市民病院の腎臓・内分泌内科、糖尿病・代謝内科の外来では、健診の二次検査や、地域の病院やクリニックから症状が進行している患者の精査加療を目的とした紹介の受け入れ対応に当たっています。

腎臓・内分泌内科では「健診で尿潜血や尿たんぱくが出て腎機能に異常が心配される患者の二次検査を、週に6名ずつ受け入れをしています。また、透析患者にトラブルがあった場合、放射線科や血管外科と連携した治療に当たります。」と杉浦医師。

糖尿病・代謝内科の薄井医師は「血糖コントロール不良で紹介いただいた患者さんの治療強化に加え、健診で血糖値やヘモグロビン

エーワンシーの異常があった方、コレステロール値が異常な方の二次検査、病的な肥満への介入も行っています。最近では、糖尿病合併症がすでに進行している患者さんの紹介が増加傾向です。特に若年層の割合が増えてきましたね。」と話します。

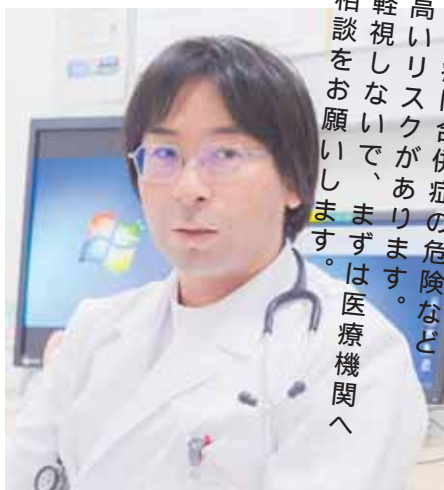
「最新の医療技術を

導入し、

患者の意識を変えて、 リスク軽減へ」

大崎市民病院の糖尿病・代謝内科には『CGM外来』もあります。「センサーを装着し、血糖値を一週間二十四時間モニタリングします。従来では不可能だった細かい血糖のプロフィールを測定でき、患者さん自身も、この食事を食べたらこんなに血糖値が上がった、運動の効果が実感

精査加療で、地域医療をリード



糖尿病は合併症の危険など高いリスクがあります。軽視しないで、まずは医療機関へ相談をお願いします。

できた、平日と休日の血糖変動の大幅な違いが分かった”など、生活改善にも役立つ変化が把握できます。」と、薄井医師。

また、腎臓・内分泌内科では「遺伝性疾患である多発性のう胞腎の患者さんに、飲み薬を投与（三日程度入院し経過観察後、外来通院）し、発症の時期を遅らせる、という新しい医療に取り組んでいます。例えば、五十代で末期腎不全から透析になるところを、六十代・七十代に遅らせるのが狙いです。」と、杉浦医師。



健診データは、とても重要な情報です。健診を定期的に受け、早期対応に努めましょう。

「初期症状は、検査結果でしか見つけられない。年に一度の受診を、ご家庭でも声がけを。」

腎機能の異常や、血糖値・コレステロール値の異常などは、初期段階での自覚症状はほとんどなく、健診結果で「異常」と判定され分かります。体調が悪いと自覚した頃には、症状も進行し、合併症や他の病気を誘発し悪化している場合もあります。

「年に一度の健診はもちろん、『異常』と判定されたら

放置せず、かかりつけ医や地域の病院で検査データを診てもらってください。

「毎年『異常』でも体調は大丈夫」と自己判断は大変危険です」。杉浦医師は受診結果を受け止め行動することを呼びかけています。

「早期に医療機関で治療を開始していたのに、面倒になって中断し、本当に調子が悪くなってから再開。あの時中断していなければ、合併症は進行しなかったのに…。このような患者さんもたくさんいます。定期健診で『異常なし』と経過を確認する意識を持ちましょう。」と、薄井医師は定期的な経過観察を訴えます。

腎臓病や糖尿病は、放っておくと心筋梗塞や脳梗塞など、命に関わる大きな病気を高い確率で引き起こします。ご家庭でも、定期健診受診の呼びかけや、異常を放置しない声がけを行いましょう。

＋ 当院の受診について

当院の受診には、お近くの保険医療機関からの紹介状と事前の診察予約が必要です。

小児科の受診には、予約は不要ですが、できる限り紹介状をお持ちください。

各種検診結果をお持ちの方のうち、精密検査が必要と判定された方で当院を受診希望される方は、予約センター（0120-003-934）までお問い合わせください。

担当医

腎臓・内分泌内科

南 尚義（診療部長兼科長）
杉浦 章（透析センター部長兼科長）
上田 詩文（科長）
宮澤 恵実子（副科長）

糖尿病・代謝内科

薄井 正寛（科長）
田中 満実子（医員）
高橋 啓範（医員）

部門紹介

患者さんの病気が快方に向かうように、院内ではたくさんの方の職員が働いています。その様子を紹介します。

「薬剤部」



私たち薬剤部には、27人の薬剤師が在籍し、調剤や抗がん薬の調製、病棟での服薬指導などを行っております。調剤時は処方箋内容、薬歴・病名・検査値などをもとに、「薬の選択や用法用量が適正かどうか」「他の薬と相互作用がないか」的確に判断し、調剤を行っています。

病棟業務では、ベッドサイドへ行き、薬の効果・服用方法・副作用の説明や確認を行い、患者さんに薬の理解を深めて頂くことで、不安を取り除き安心して治療に専念できるよう努めています。

薬についての疑問や不安などがありましたら、気軽に薬剤部までご相談ください。



～外来化学療法室での薬剤指導を行っています～

今年6月から、外来化学療法室で抗がん薬投与を受ける患者さんに対し、投与する薬剤の特性や副作用について説明を行っています。

抗がん薬の副作用は投与直後だけでなく、1～2週間後に現れるものもあり、日常生活にも影響が出て来ることがあります。

近年、外来での治療が増えており、副作用やその対策を患者さんにご家族に伝えることで、治療を受けながら自宅でも安心して生活できる助けとなるよう努めています。



医療まめちしき

患者さんによく質問される疑問にお答えします。

Q 薬を食前や食後に飲むのはなぜ？

A 薬の飲み方はそれぞれ作用や吸収効率をもとに決められています。
例として、空腹時に服用すると効率よく吸収される薬などは食前に内服し、空腹時では胃に刺激を与えてしまう薬や食事と一緒にの方がよく吸収される薬は食後に内服します。この他にもさまざまな理由により食事の前後に服用するタイミングが薬ごとに決められていますので、疑問に思う点がありましたらご相談ください。

Q 薬を水以外の飲み物で飲んでも大丈夫？

A 飲み薬はコップ1杯程度の水かぬるま湯で飲みましょう。水と飲むことで薬が溶けて吸収しやすくなりますし、反対に水の量が少ないと薬の吸収が低下したり、遅くなったりして薬の効き目が悪くなることもあります。また、ジュースやお茶で飲むと薬の効き目に影響を及ぼすことがあります。

水なしでも飲める薬も発売されていますので、詳しくは添付されている薬の説明書または薬剤師へご確認ください。

Q 上の子の薬を下の子にも飲ませて良いか？

A 薬は子どもの体重や月齢に合わせて処方されるので、同じ病気でも適切な量が違います。たとえ同じ風邪でも、その子によって症状の種類や程度が異なりますし、同じような症状に見えても原因菌が違ふ場合もあります。そのため兄弟間で安易に使うのはやめましょう。



Q&A

病院内のあれこれ 教えてパタ崎さん！

Q 現金以外でも、支払いできますか？

A 現金以外に、次のクレジットカードでの支払いが可能です。



1回払い、分割払い、リボ払いの方法から選択できます。
※カード会社の規定により、ご利用いただけない場合もございます。



みやぎ大崎 ふつつつ共和国
広報大臣

Q 喫煙所はありますか？

A 駐車場を含め、敷地内は全面禁煙となっており、喫煙所は設けておりません。ご理解とご協力をお願いいたします。

TOPICS

～かかりつけ医 検索システムのご案内～

当院ホームページ内には、「大崎市民病院登録医療機関」の施設情報を検索できるシステム「かかりつけ医検索」を設けております。

「かかりつけ医」とは、患者さんや家族の健康に関して、日常的な診療や健康管理など、何でも相談ができ、緊急の場合にも対処してくれる身近なお医者さんのことです。

当院は、患者さんの日常的な診療を行う「かかりつけ医」を持つことを推進しており、原則紹介予約制外来である当院を受診する際は、お近くの「かかりつけ医」から紹介状をもらい、診療予約をしてから受診してください。

当院ホームページの「かかりつけ医検索」システムのご利用方法については右記のとおりとなりますので「かかりつけ医」選びにご利用ください。



かんたんなヨウでむずかしい 小さな行動が大きな迷惑に・・・！
もらってうれしい“アリガトウ”
伊藤 隆 さん（ボランティア歴2年）

患者さんには親切丁寧に接するよう心掛けながら、新患受付付近のお手伝いをしています。患者さんの笑顔を見るととてもうれしい気持ちになります。
佐々木 ゆり子 さん（ボランティア歴2年）



こんなときは、
私たちボランティアに
声をかけてくださいね

受付の仕方が分からない時
院内の場所が分からない時
車いすでの移動の時
お手伝いが欲しい時
…など

我が病院の

ボランティアさん



◎病院ボランティアさん大募集◎

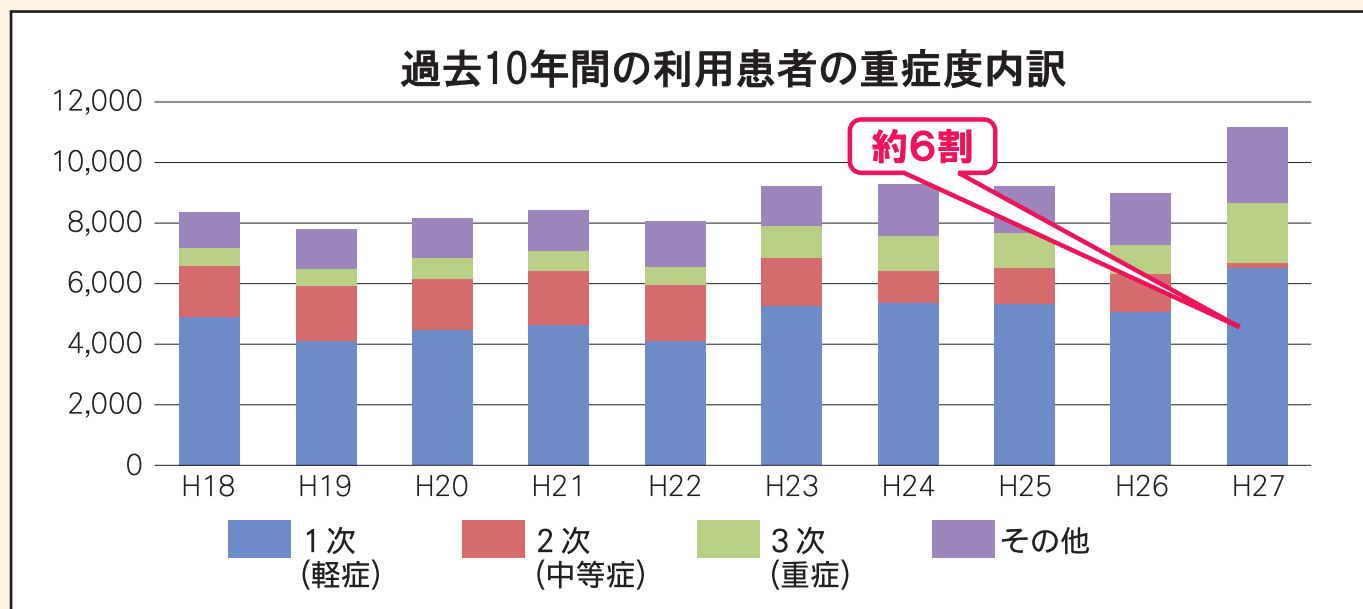
活動内容 一例：病院内の案内・新患受付の手伝い、車いす移送補助、
小児科病棟患者支援、ロビーコンサートなどの手伝い ほか

➡お気軽にお問い合わせください ㊟ 総務課総務係 TEL：0229-23-3311

総合医療支援センターだより vol.7

制度や医療費の心配事など、お気軽にご相談ください。

みんなで考えよう。救急医療のこと。



風邪や打撲など軽症の場合

**大崎市夜間急患センター
または救急当番医へ**

※あくまで応急処置です。

翌日にはかかりつけ医などを受診してください。

どうしてよいか分からない場合

夜間救急電話相談へ

受付時間19:00～翌朝8:00

【大人(15歳以上)】TEL 0120-349-119

【こども(15歳未満)】TEL #8000

救命救急センターは365日24時間体制で、市内に限らず、県北地域から救急搬送される重篤な患者に対し、高度な医療を提供しています。

しかし、全国的に「救急医療のコンビニ化」が問題になっており、「薬がなくなったので欲しい」「日中は忙しい」といったマナーに反する受診も少なくありません。

救命救急センターの安易な受診は、一刻を争う患者の診療を妨げるだけでなく、昼夜を問わず人命を救うために努力を続ける医師や看護師の負担を重くし、救急医療崩壊の危機を招きかねません。

みんなで考えましょう。自分や家族が一刻を争うような時に救命救急センターが利用できない状況だったと想像すると安易な利用はできないはずです。

本当に必要な方のため、ご理解とご協力をお願いします。

地域の医療機関のご紹介

当院は、身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。こちらでは、日々当院と交流のある登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

鈴木診療所

診療科目：

内科、小児科、皮膚科

〒981-4401

加美郡加美町宮崎字屋敷5-21-2

TEL:0229-68-2121

受付時間：

午前8時30分～正午

午後2時～午後5時

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	—
午後	○	○	—	○	○	—	—

●院長 鈴木 啓之先生



地域のみなさんへ

開業は2000年（平成12年）であっという間の16年でした。

開院当初、加美町宮崎（旧宮崎町）には若生医院の早川先生がおられましたが、10年ほど前に亡くなり、以後私一人になってしまいました。

大きな町まで降りていけない方も多く、簡単な外科処置や膝の水抜きなども極力行っており、また胃カメラ・腹部エコー・頸部エコー・眼底検査・A B I も積極的に行っております。

「とにかく何でもまず診る→手に負えなさそうな方はどんどん専門医に送る→返事から多くのことを学ぶ」をモットーにこれからも日々精進してまいりますので、よろしくお願いします。



●院長 伊藤 啓司先生

伊藤内科小児科医院

診療科目：

内科、小児科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科

〒989-6224

宮城県大崎市古川小泉字泉40

TEL:0229-23-8866

受付時間：

午前8時30分～正午

午後2時～午後6時

※水・土曜日は

午前8時30分～午後0時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	—
午後	○	○	—	○	○	—	—

地域のみなさんへ

当院は、大崎市古川小泉の桜ノ目橋近くにある小さな医院です。

病院に勤務していた時には、血液内分泌代謝を専門にしていました。

慢性期で症状の安定している患者さんや専門以外の患者さんを紹介していただいた場合でも地域医療を守るために、まい進してまいりますので今後ともよろしくお願いします。

つながり

大崎市民病院広報誌「つながり」No.7
2016年10月発行
一回発行は2017年1月の予定です

大崎市民病院

〒989-6183 宮城県大崎市古川穂波三丁目 8 番 1 号

TEL 0229-23-3311 FAX 0229-23-5380 URL <http://h-osaki.jp>

大崎市民病院

検索